

ごあいさつ 「健康」「友愛」「感謝」

本校は、須賀川市の中心部に位置する芦田塚（あしだつか）に、昭和48年、県内初の病弱教育を主とする県立特別支援学校として開校（独立行政法人国立病院機構福島病院隣接）し、小学部、中学部、高等部（昭和57年開設）の3学部を設置、また分校として、医大校（福島市：昭和62年開校）並びに郡山校（郡山市：昭和53年開校）を設置しております。

本校は、令和4年3月16日に発生した地震により、校舎の大半を被災しました。このことから、本校に隣接する福島病院の旧看護学校施設に高等部を配置し、小・中学部は、被害を免れた教室等を使用して学習を進めておりましたが、今年4月に仮設校舎が設置され、高等部のお隣で学習を進めることができるようになりました。また、福島病院に入院している児童生徒の学習につきましては、福島病院の皆様のご協力の下、感染症対策を施しながら一つ一つ丁寧に進めているところです。さらに、「地域支援センター」におきましては、入院児童生徒を含めた特別な支援を必要とする児童生徒の切れ目のない支援の充実に努めております。

本校の取り組みに対して、保護者の皆様や福島病院の皆様、地域の皆様など、多くの方々のご理解とご協力をいただいていることに、改めて感謝申し上げます。

本校は、「健康」「友愛」「感謝」を校訓に掲げ、小学部12名、中学部22名、高等部40名の児童生徒一人一人に応じた教育の充実を図るとともに、自ら学び、明るく、強く、思いやりのある、豊かな人間の育成に努め、自立と社会参加を目指して参ります。また、地域との連携を密にし、安全で安心な学校づくりを進めて参ります。

児童生徒一人一人が自らの花を素敵に咲かせることができるよう、教職員一同全力をあげて取り組んで参ります。皆様におかれましては、本校の教育活動に、さらなるご理解とご協力を賜りますことをお願い申し上げます、あいさつといたします。



須賀川市伝統行事「松明あかし」に参加

令和6年4月
福島県立須賀川支援学校
校長 大橋 隆史